

はしがみ

No.37

6月号(Jun)

議会だより

暮らし人
地域を豊かに



～第7回階上岳・階上海岸一斉清掃大作戦～

5月12日に階上岳・階上海岸一斉清掃が行われ、570名の町民の方が参加し、熱心にごみ拾いをしました。



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 第1回定例会

一般会計予算
2.9%増 約57億円

06 ここが聞きたい

3議員が一般質問

09 質疑あれこれ

30年度及び令和元年度
一般会計・特別会計

12 新議会組織決定

議員紹介

第1回 3月定例会

平成31年第1回定例会を3月1日開会し、3月7日閉会しました。今回の議会では、報告1件、条例の一部改正3件、補正予算6件、新年度予算6件、その他7件、計23件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で可決しました。一般質問は、3人の議員が行いました。



4項目の 重点施策

施政方針

町民サービスの向上
持続可能な町政運営

1 地域の再生と 産業振興

○はしかみハマの駅あるでいしばを拠点に、既存の観光施設と連携し、町水産業の活性化を図る。
○青森県立八戸水産高等学校との官学連携による、町の魚「アブラメ」のブランド化に取り組み、階上ブランドの更なる推進を図る。

2 快適で安心な 生活促進

○中学生までの医療費助成。季節性インフルエンザ任意予防接種に要する費用の一部を助成。
○移住・定住・子育て・若年夫婦支援に重点を置いた新築応援プロジェクト事業補助金に予算配分。
○空き家等の有効活用推進のための助成。
○コンビニエンスストア等で、町税の納付を可能とする収納代行の導入準備を進める。

(右下へ続く)

3 健康増進と 福祉の向上

○大腸がん検診の無料化など、がん予防対策を進めるとともに、地域福祉の担い手育成支援等にも取り組む。

4 未来へつなぐ まちづくり

○協働のまちづくり支援事業費補助金や地区計画推進交付金による助成及び生活道路等の整備に予算配分を行い、より一層の協働のまちづくりの推進に努める。
○都市計画マスタープランの見直しに係る予算配分を行い、町民生活の質の向上と地域社会の活性化を目指す。
○階上町ふるさと定住促進補助金への予算配分を行い、若者のふるさと定住促進と地域の活性化を図る。

一般会計予算

総予算 90億9861万円

町税 2・5%増 10億2261万円
一般会計予算 57億3000万円
特別会計予算 33億6861万円

▽令和元年度一般会計予算

予算総額は、57億3千万円、前年比2・9%、1億6千万円の増。

歳入(収入)の主なもの

【町税】前年比2・5%増の10億2261万円。
【地方譲与税】森林環境譲与税400万円。

【環境性能割交付金】環境性能割交付金476万円。

【地方交付税】前年度と同額の21億3千万円。

【繰入金】前年比10・9%増の4億8477万円。内訳は、財政調整基金から4億8082万円、減債基金から3955万円。

【町債】前年比0・5%増の3億1250万円。

【歳出(支出)の主なもの

【総務費】町制施行40周年記念誌作成委託料350万円、コンビニ収納代行導入準備に係る経費877万円、県議会議員一般選挙費56万円、町議会議員一般選挙費762万円、次期総合振興計画作成に係る経費232万円、空き家対策事業費117万円、移住支援事業費補助金200万円等。

【民生費】自立支援給付費2億8242万円、地域密着型介護施設等の整備及び開設準備に要する経費に対する補助金3920万円、保育所等施設整備費補助金1億6940万円、子どものための教育・保育給付費4億4884万円等。

【衛生費】予防接種委託料3301万円、住民検診委託料3162万円等。

【農林水産業費】農業次世代人材投資資金1050万円、階上地区水産物供給基

盤機能保全事業費5010万円、階上アブラメブランド化推進事業費248万円等。

円、コンビニ収納代行導入準備に係る経費877万円、県議会議員一般選挙費56万円、町議会議員一般選挙費762万円、次期総合振興計画作成に係る経費232万円、空き家対策事業費117万円、移住支援事業費補助金200万円等。

【環境性能割交付金】環境性能割交付金476万円。
【地方交付税】前年度と同額の21億3千万円。
【繰入金】前年比10・9%増の4億8477万円。内訳は、財政調整基金から4億8082万円、減債基金から3955万円。
【町債】前年比0・5%増の3億1250万円。

【歳入(収入)の主なもの

【町税】前年比2・5%増の10億2261万円。
【地方譲与税】森林環境譲与税400万円。
【環境性能割交付金】環境性能割交付金476万円。
【地方交付税】前年度と同額の21億3千万円。
【繰入金】前年比10・9%増の4億8477万円。内訳は、財政調整基金から4億8082万円、減債基金から3955万円。
【町債】前年比0・5%増の3億1250万円。

【総務費】町制施行40周年記念誌作成委託料350万円、コンビニ収納代行導入準備に係る経費877万円、県議会議員一般選挙費56万円、町議会議員一般選挙費762万円、次期総合振興計画作成に係る経費232万円、空き家対策事業費117万円、移住支援事業費補助金200万円等。

【民生費】自立支援給付費2億8242万円、地域密着型介護施設等の整備及び開設準備に要する経費に対する補助金3920万円、保育所等施設整備費補助金1億6940万円、子どものための教育・保育給付費4億4884万円等。

【衛生費】予防接種委託料3301万円、住民検診委託料3162万円等。

【農林水産業費】農業次世代人材投資資金1050万円、階上地区水産物供給基

盤機能保全事業費5010万円、階上アブラメブランド化推進事業費248万円等。

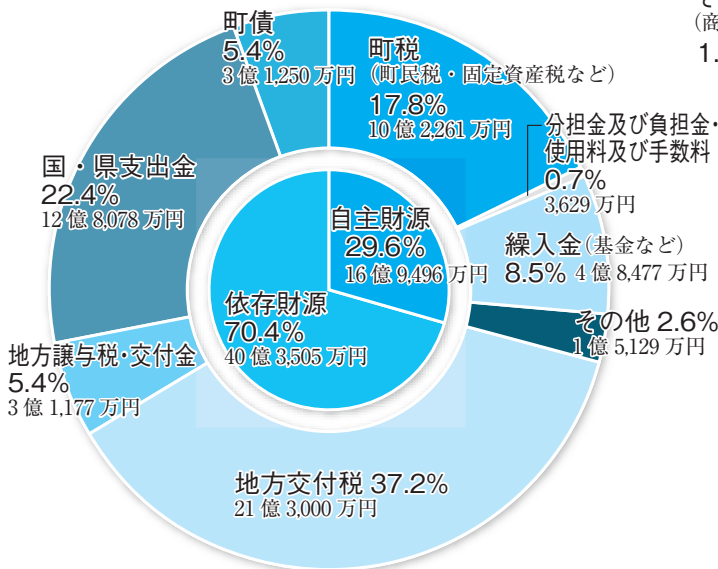
新年度予算可決

令和元年度一般会計予算

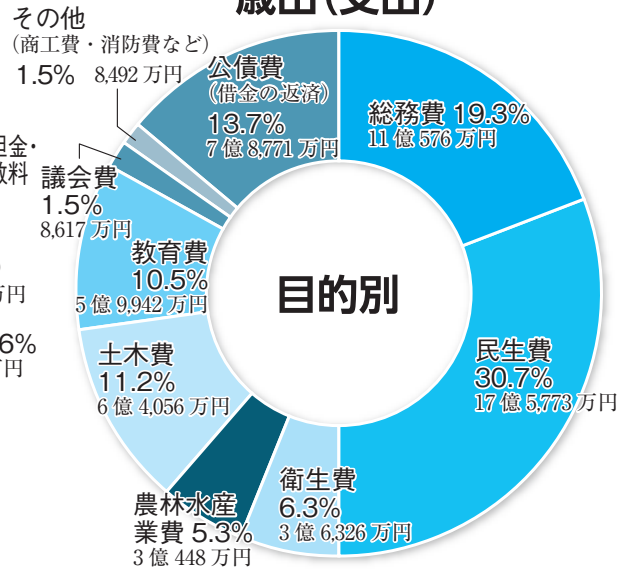
57億3千万円

一般会計予算

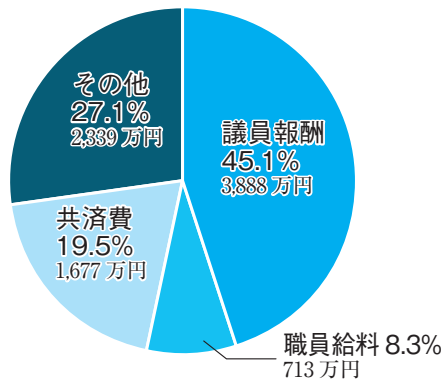
歳入(収入)



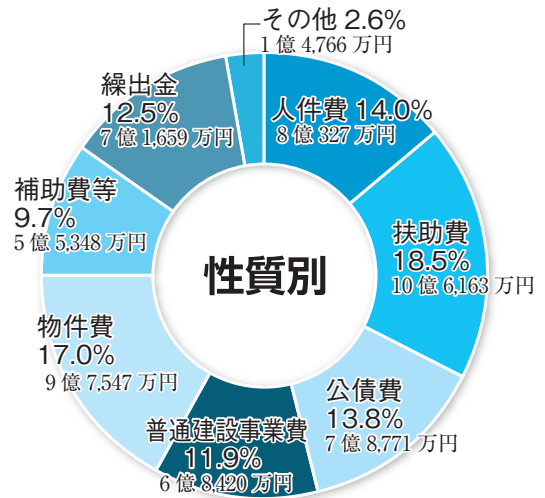
歳出(支出)



議会費 8,617万円



性質別



令和元年度 一般会計・特別会計予算額

会計名	令和元年度	平成30年度	差し引き増減額	増減率(%)	
一般会計	57億3,000万円	55億7,000万円	1億6,000万円	2.9	
特別会計	国民健康保険	15億4,713万円	15億4,246万円	467万円	0.3
	漁業集落排水事業	4,313万円	4,143万円	170万円	4.1
	介護保険	13億3,929万円	13億4,502万円	△ 573万円	△ 0.4
	公共下水道事業	3億2,018万円	3億1,836万円	182万円	0.6
	後期高齢者医療	1億1,888万円	1億1,421万円	467万円	4.1
	小計	33億6,861万円	33億6,149万円	712万円	0.2
合計	90億9,861万円	89億3,149万円	1億6,712万円	1.9	

※金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

主な新年度事業

令和元年度新規事業の一部を紹介します。
当初予算の主要施策説明書は町のホームページで
ご覧になれます。



**コミュニティバス・スクールバス
運行委託料** 4,045万円

(右)老朽化により点灯不良となっているグラウンド照明設備について、LED化による節電、機能強化を図る。

(左)2年間の試行期間が終了し、令和元年度からは新たな運行体系がスタート。



**階上中学校グラウンド照明
改修事業** 3,108万円



住民検診委託料 3,162万円

(右)八戸水産高校と連携し、町の魚である「アブラメ」のブランド化を目指す。

(左)がん予防対策を進めるため、大腸がん検診の自己負担分を町が全額負担することで受診率の向上を目指す。



**階上アブラメブランド化
推進事業費** 248万円

報告・条例の改正・その他

■報告

▽専決処分した事項の報告
自動車破損事故による被害者に係る損害賠償の和解
及び損害賠償の額を定めることを専決処分したものを。

▽階上町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件について所要の改正をするため一部改正するもの。

■条例の一部改正

▽階上町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
原則として一定の時間の範囲を超えて時間外勤務をさせてはならないこととするため一部改正するもの。

■その他

▽階上町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正
学校教育法の一部改正に伴い、所要の改正をするため一部改正するもの。

▽町道路線の認定及び廃止について
町道2路線について認定及び廃止するもの。

▽青森県市町村職員退職手当組合の減少及び青森市町村職員退職手当組合規約の変更について

令和2年3月31日をもって三戸郡福祉事務組合を解散することに伴う、三戸郡福祉事務組合立やまぼと寮の財産処分について、議会の議決を求めるもの。

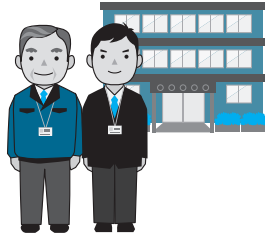
令和2年3月31日をもって三戸郡福祉事務組合を解散することに伴う、三戸郡福祉事務組合立やまぼと寮の財産処分について、議会の議決を求めるもの。

▽青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について
構成団体の減少により規約を変更するもの。

▽三戸郡福祉事務組合の解散について
令和2年3月31日をもって三戸郡福祉事務組合を解散することに伴う、組合市町村と協議するため、議会の議決を求めるもの。

▽三戸郡福祉事務組合の解散に伴う三戸郡福祉事務組合立やまぼと寮の財産処分について
令和2年3月31日をもって三戸郡福祉事務組合を解散することに伴う、三戸郡福祉事務組合立やまぼと寮の財産処分について、議会の議決を求めるもの。

令和2年3月31日をもって三戸郡福祉事務組合を解散することに伴う、三戸郡福祉事務組合立やまぼと寮の財産処分について、議会の議決を求めるもの。



▽三戸郡福祉事務組合の解散に伴う財産処分及び事務承継について

令和2年3月31日をもって三戸郡福祉事務組合を解散することに伴う財産処分及び事務承継について、組合市町村と協議するため、議会の議決を求めるもの。

▽階上町副町長に選任する者につき同意を求めることについて

任期満了に伴い、沼沢範雄氏の任命に同意しました。

一般会計補正予算 1億1,059万円を減額補正

移住・定住新築住宅支援事業費補助金
11,422万円減額

▽30年度一般会計補正予算(第4号)

1億1,059万円を減額補正し、予算総額は54億5,346万円。
歳入は、国庫支出金296万円等を減額し、諸収入645万円等を増額しました。

▽30年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

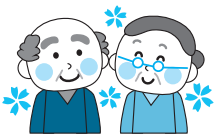
37万円を減額補正し、予算総額は4,133万円。
歳入は、繰入金37万円等を減額しました。
歳出は、総務費37万円を減額しました。

▽30年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

2,100万円を減額補正し、予算総額は1億1,601万円。
歳入は、国庫支出金466万円等を減額し、保険料45万円等を増額しました。

▽30年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

111万円を増額補正し、予算総額は16億655万円。
歳入は、繰入金5852万円等を減額し、国民健康保険税5135万円等を増額しました。
歳出は、保健事業費219万円等を減額し、予備費316万円等を増額しました。



▽30年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

344万円を減額補正し、予算総額は3億696万円。
歳入は、繰入金571万円等を減額し、分担金及び負担金180万円等を増額しました。
歳出は、総務費16万円等を減額しました。

▽30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

128万円を増額補正し、予算総額は1億1,719万円。
歳入は、繰入金158万円を減額し、保険料286万円等を増額しました。
歳出は、総務費20万円を減額し、後期高齢者医療広域連合納付金148万円を増額しました。

平成30年度 一般会計・特別会計の補正予算額

区分	補正額	→	予算総額
一般会計補正予算(第4号)	△1億1,059万円	→	54億5,346万円
特別会計	国民健康保険(第3号)	111万円	→ 16億655万円
	漁業集落排水事業(第2号)	△37万円	→ 4,133万円
	介護保険(第3号)	△2,100万円	→ 13億1,601万円
	公共下水道事業(第2号)	△344万円	→ 3億696万円
	後期高齢者医療(第2号)	128万円	→ 1億1,719万円

※金額は、すべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

一般
質問

こころが聞きたい

第1回定例会では3議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■ 上道 二三男 議員 6ページ

- 1 町消防団員の今後の定年年齢の在り方について
- 2 町消防団員の準中型免許取得の現状と今後の対応について

■ 小松 雅彦 議員 7ページ

- 1 ブロック塀の安心安全について
- 2 新たな都市計画マスタープランについて

■ 百目木 和俊 議員 8ページ

- 1 町内小中学校の教育環境の整備について
- 2 旧登切小学校跡地の有効利用について



上道二三男 議員

八戸広域消防本部管内の他市町村の状況は、一般団員の定年年齢を60歳としている団体が本町も

問① 町長

全国的にも消防団員のなり手不足が深刻化し、人員確保に苦慮している状況と伺っている。消防団員の定年年齢は各町村において違いがあるようだが、本町においては一般団員の定年年齢は60歳と伺っている。他の町村と比較してどのような状況なのか。また、定年年齢の見直しは検討されているのか伺いたい。

問①

町消防団員の今後の定年年齢の在り方について
〔町長〕早急に検討し、体制強化に努める



消防操法大会の様子

含め5団体、65歳としている団体が3団体ある。全国的に消防団員数が減少する中、本町においても消防団員の確保は急務であると考えている。こうした中、経験豊富で知識や技術を有する心身共に健康で意欲のある団員には、これまで培われた経験を活かし、引き続き活躍していただきたいと考えているところである。定年退職年齢変更の件は早急に検討し、町消防団体制の一層の強化に努めてまいりたい。

問①

町消防団員の準中型免許取得の現状と今後の対応について
〔町長〕免許制度改正による支障はないが、取得補助は今後の検討課題

問① 町長

自動車運転免許証の区分改正により、2017年3月12日に準中型免許が誕生したが、これに伴い若い団員の中でポンプ自動車の運転に支障が無いか現況を伺いたい。また、近隣の町村において中型免許等の取得に補助制度を設けているところもあるが、このような制度の検討はなされているのか伺いたい。

特に大きな支障はきたしている状況にない。中型免許等の取得に対する補助金制度の件は、消防団員の加入促進の取り組みのひとつとして、今後の課題として各分団の意見を聞きながら、検討する。

本町における消防自動車は、車両総重量5トン以上が2台、3・5〜5トン未満が3台、3・5トン未満が2台の配備となっている。免許制度改正に伴い、運転に支障のある若い団員は現在全団員中1名いるが、消防・防災活動に



ポンプ自動車

ブロック塀の安心安全について

〔町長〕安全確保に向けた取組みを進める

問①

大阪府北部地震でブロック塀が倒壊し尊い人命が奪われた。

きちんと施工されたブロック塀は、人や建物を守るが、不十分な塀は、倒壊により人命を奪い、道路を塞ぎ避難に支障をきたし、緊急車両等の通行の妨げになり得る。

国では、ブロック塀等の倒壊による通行障害の防止等を図るため、建築物の耐震改修の促進に関する法律施行令の一部を改正し、平成31年1月1日に施行されている。町のブロック塀診断の広報、安心安全への取り組みについて伺いたい。



小松雅彦 議員

答①

町長

本町では、建設課が相談窓口となり、広報やホームページなどによる注意を呼びかけている。

公共施設内の塀を点検した結果、倒壊の恐れのある1箇所は撤去済みである。通学路については各学校の情報を基に、現地確認を実施したところ、早急に改善を必要とする塀は無かった。

今後、塀の所有者の方への安全対策の啓発や相談の対応などに加え、地震災害時の緊急輸送路等に対する安全確保に向けた取り組みを進めてまいりたい。

問②

ブロック塀の転倒により他人に被害が生じた場合、所有者は損害賠償の責任を負うことになる。自宅の塀を自己診断で

答②

建設課長

ブロック塀の撤去等には多額の費用が掛かるが町として危険な塀を無くすための補助金制度創設の考えがないか伺いたい。

問①

町長

国では現在、再発防止に向けた補助制度の創設を進めており、今後の国・県の動向を注視してまいりたいと考えている。

新たな都市計画マスタープランについて

〔町長〕コンパクトな町づくり形成促進を進める

問①

階上町都市計画マスタープランが創設されてから20数年たち、新たな都市計画が必要と考えるが、町の考えを伺いたい。

問②

町長

町を取り巻く環境が時間と共に大きく変化してきている。

今後の町づくりに向け、住民意識調査を行った上で、令和4年度までにマスタープランの改訂やコンパクトな町づくりの形成促進に向け、市街化区域へ誘導を図る「立地適正化計画」の策定などを実施することとし、町民の皆様の声を反映した「魅力ある町づくり」を目指して事業展開してまいりたい。

問①

町長

私の考えるコンパクトシティとは、普段の生活は愛着のあるその土地で営み、様々な生き方・多様性を尊重しながら、何かあったら機能集約した中心部で必要な用事を済ませたり交流を行っていきける町と考えている。

集約施設・複合施設として公会堂のような沢山の人が収容できるホール、中小会議や色んな人が交流・利用できるスペースや、図書館・公園・公認の取れる体育施設を都市計画に入れていただきたいと思うが、町の考えを伺いたい。

問②

建設課長

町では実証期間を経て、コミュニティバスの再編事業を行い、役場庁舎やハートフルプラザはしかを交通連結点として位置付け、公共施設や商業施設機能の集中する地域への利便性の向上を図ることとしている。

各地域と都市機能のある中心拠点とを繋ぐ「コンパクト・プラス・ネットワーク」を推進し、都市活力の維持、向上を図りながら住みよい、住み続けられる町づくりを目指し、今後様々な計画に活かしてまいりたい。



町内小中学校の教育環境の整備について

〔教育長〕町単独事業での冷房設備の設置については気象状況により検討する

問①

答①

教育長

平成30年度、国において小中学校の教室等に冷房設備が必要とのことから、空調設備設置に係る交付金事業が創設された。本町においても申請したと聞いているが、その結果を伺いたい。

本町においても少子化により子供たちは年々少なくなってきた。だからこそ大事な子供たちのために、より良い環境を整えて勉学に集中できる場を作っていきたい。そのため、町単独で冷房設備を設置する考えがないか伺いたい。



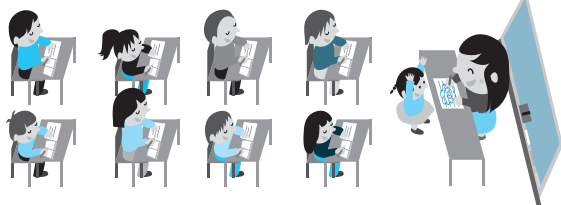
百目木和俊 議員

今年度、国では補正予算において「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業」を創設し、今年度限り実施することとしたものである。交付金の内容は、猛暑に起因する児童生徒等の熱中症予防対策として、普通教室、特別教室に空調設備を整備する経費の一部を交付する事業である。

本町では、全小中学校の保健室とパソコン教室に設置する内容の事業計画を計上したが、普通教室への整備を最優先するとのことから、採択には至らなかった。

今後も、児童生徒のより良い教育環境の整備に努めていくが、町単独での冷房設備を設置する事業については、今後の猛暑日や真夏日の気象状況

を見ながら必要に応じて検討してまいりたい。



旧登切小学校跡地

旧登切小学校跡地の有効利用について

〔町長〕協働のまちづくり支援事業費補助金等を活用しながら整備する。

問①

答①

町長

平成22年に閉校となった登切小学校が、わっせ交流センターと名称を変え、6次産業の推進と階上早生そばの拠点として、地元が主体となり法人化され4年余りが過ぎましたが、現在、経営も順調に推移している。

ここ3年間の入客数は固定化しつつあるが、交流センターへの更なる集客の増を図るため、旧小学校跡地を、親子・高齢者が気軽に楽しめるレクリエーションの場として、また、グラウンドゴルフ等ができる多目的公園として整備する考えがないか伺いたい。

問②
旧登切小学校跡地の多目的公園整備については平内地区の計画であるが、元学区であった晴山沢行政区も協力は惜しまないと聞いている。早期整備をお願いしたい。

答②
総合政策課長
旧登切小学校跡地の有効活用に関しては、地域の方々の健康増進、並びにコミュニティの醸成に資すると考えている。

旧学校跡地広場の整備として、第2次平内地区まちづくり計画書において、地形を活かした自然公園を整備、グラウンドゴルフ場の整備、わっせ交流センターを拠点としたトレッキングコースや遊歩道の整備、交流センター周辺の環境整備の4施策が掲げられている。

計画書にある公園やグラウンドゴルフ場の整備等のハード事業は、地域と町とが協力し合いながら進める協働事業に位置付けられている。

計画推進にあたっては、地域での検討を踏まえ、協働のまちづくり支援事業費補助金等を活用しながら、地域と町との協働による整備を進めてまいりたい。

また区域外から特にシニア層の利用により、階上早生そばの拠点施設であるわっせ交流センターとの相乗効果が得られるのではと考える。

跡地の有効活用を進めるには、地区計画に則した青写真を地域で描いていただきたい。町では地域担当職員制度などにより、地区計画の推進にお手伝いできると考えている。

質疑あれこれ

第1回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

30年度一般会計 補正予算

林 貢 議員

◆八戸地域広域市町村圏事務組合負担金

問 2402万6千円減額の内容と、各事業の他市町村との連携は。

答 総合政策課長 消防費の施設関係業務委託が1160万6千円の減。衛生費関係のし尿処理、塵芥処理、リサイクルプラザの管理運営費が1248万2千円の減で、いずれも入札残によるもの。効率的な事務を進めるため、今後も構成市町村と連携し広域事務を進めていきたい。

大下 修 議員

◆移住・定住新築住宅支援事業費

問 約1100万円減額の内容は。

答 建設課長 当初予算で60件分計上したが、実績が39件の見込みとなり、その分減額したものの。

荒谷 憲輝 議員

◆住民検診委託料

問 約300万円減額の理由は。

答 健康福祉課長 昨年度と比較し、約150名の国保被保険者減少により、各検診項目につき約50名の費用を減額したものの。

長根 岩夫 議員

◆塵芥処理費

問 1220万円減額となっているが、見積徴収の方法と予算計上の考え方は。

見積徴収は、精度の高い方法を検討すべきだと思うが、如何か。

大江 和夫 議員

◆農道管理費

問 当初予算940万に対し、約5割の490万減額の理由は。

答 建設課長 国の交付決定額に合わせ、町の負担金及び連合会の賦課金を減額したものの。

30年度国民健康保険 特別会計補正予算

畑中 弘實 議員

◆国民健康保険税

問 当初予算が前年度予算と同じであれば増額補正をしなくよかつたのではと考えるが、4876万9千円増額の理由は。

答 町民生活課長 実績のある事業者より、見積徴収をし、当課で作成する設計書と比較等を行い、当初予算設計書を作成している。

設計時に費用単価等について精査していきたい。

令和元年度 一般会計予算

林 貢 議員

◆町制施行40周年記念誌作成委託料

問 記念誌作成以外の予定事業は。

答 総務課長 令和2年5月頃に記念式典の開催を予定している。

◆備品購入費 税務車

問 車両の仕様・目的・管理は。

答 税務課長 効率性・安全性を考慮し、四駆でオートマ、寒冷地仕様の軽自動車を購入予定。管理は、「町公用車運行管理規程」に基づき管理している。

長根 岩夫 議員

◆コンビニ収納対応システム改修委託料

問 納税対象となる総件数と金額、目標とする件数と金額は。

実施年度に係る経費は、コンビニでの証明書交付に係る町の考え方は。

答 税務課長 対象となる町税4税の全件数は5万8千件、金額は10億6800万円。コンビニ収納の見込み件数は約2万1千件、金額は3億9千万円。

経費は、平成30年度以降に収納代行業者が決定し、事務手数料が発生することに。今後十分に精査し、予算計上してまいりたい。

◆総合政策課長

コンビニでの証明書交付については八戸市等の状況を注視し、町全体の経費等を考えながら検討していきたい。

◆補装具給付費

問 ウィッグ・乳房補正下着等の購入費補助について、本町での検討は。

答 健康福祉課長 ウィッグ等は、残念ながら県事業の補装具給付費には該当しない。今後、県の補助制度を注視してまいりたい。

◆除雪作業委託料

問 地区により、出勤回数に差があるが、路線配分と今後の対応は。

答 建設課長 各業者から機械の更新状態・運転手の増減などについてアンケートを取り、除雪計画を策定・実施している。今後、業者の情報を捉え、協議・対応してまいりたい。

◆除雪機械借上料

問 449万7千円と昨年より安くなっているが、借上期間や方法、見積徴収に変更はあったのか。

答 建設課長 車両の借上げ期間、保険料等の条件を明示し見積徴収をした結果、経費の節減になったもの。

大下 修 議員

◆公共交通対策費

問 今後の運行の見直しは。

答 総合政策課長 令和元年度からのコミュニケーションバス再編については、実証期間を経て、町地域公共交通会議において検討し決定したものの。

八戸圏域の再編実施計画で、令和2年4月から路線バスの見直しが予定され、再度見直しが考えられる。

◆階上庁舎前バス停屋根掛工事

問 他地区で計画・検討しているところは。

答 総合政策課長 他のバス停についての計画は現在はない。

森 榮吉 議員

◆水質測定等委託料

問 水質調査結果についての傾向・対策内容等は。

答 町民生活課長 平成27年度調査でBODが水路2か所、大腸菌数が水路4か所と河川2か所

平成30年度調査で大腸菌群数が水路4か所、河川3か所で、いずれも年2回基準値を上回った。改善が必要な地区には出前講座を開催したい。

◆浄化槽設置費補助金

問 設置基数等の実績は。

答 建設課長 20基分予算計上しており、年間平均16基程度の実績。

データ等活用しながら計画を策定し、出前講座等で普及促進に努めたい。

荒谷 憲輝 議員

◆交流の森・階上岳つづきの森管理費

問 森の交流館の利用状況と利用促進は。

答 産業振興課長 平成30年度は現在までに、55件1498名の方が会議や研修会等で利用。今後とも、環境整備を行いながら観光客増に努めたい。

◆ふるさとにぎわい広場管理費

問 指定管理者が変わること、従業員継続雇用についての考えは。

答 産業振興課長 継続勤務の意向があるか調査・面接を行い、4月からの雇用準備を進めている。

◆奨学資金

問 奨学資金を増額する考えは。

答 教育長 就学する方への国の支援状況等を収集しながら、新たに定住を目的とした階上町ふるさと定住促進補助金を創設し、適切に就学を支援してまいりたい。

郷州 公典 議員

◆健康福祉課長

問 事業内容は。

答 健康福祉課長 親の孤立感や不安感に対応し、地域において親子交流を促進し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とした事業。

◆産業振興課長

問 事業の進め方は。

答 産業振興課長 昨年7月に八戸水産高校と官学連携に関する協定を締結。商品開発等での消費拡大、販路拡大・活魚畜養施設等の流通促進、イベント等の観光資源開発、種苗放流・漁場整備等の資源確保の四本柱での計画を進めていく。

大江 和夫 議員

◆子ども・子育て支援事業費

問 2月現在の収支状況は。

答 教育長 平成30年12月1日現在、奨学金償還中で本町に住民登録がある方を予算計上。

町広報等への掲載、中学校を通じて保護者への説明等で周知している。

◆産業振興課長

◆階上町ふるさと定住促進補助金

問 対象者数84名の根拠補助金のPR方法は。

答 教育長 平成30年12月1日現在、奨学金償還中で本町に住民登録がある方を予算計上。

町広報等への掲載、中学校を通じて保護者への説明等で周知している。

◆産業振興課長

◆階上町ふるさと定住促進補助金

問 対象者数84名の根拠補助金のPR方法は。

議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	3月27日	学校長並びに教頭送別会	7,000円
2	会費	4月19日	階上中学校教職員歓送迎会	5,000円
1	祝金	4月5日	町連合婦人会定期総会	3,000円
2	祝金	4月9日	町体育協会定期総会	3,000円

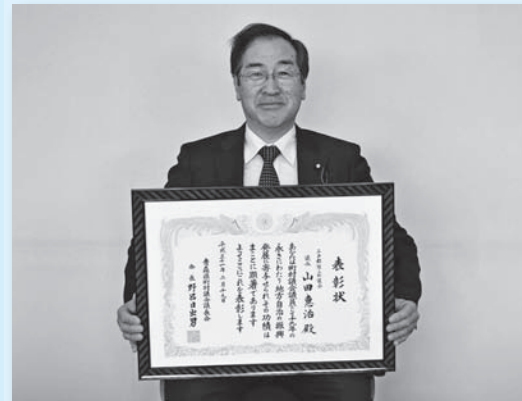
番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
3	祝金	4月26日	町民生委員児童委員協議会定時総会	5,000円
4	祝金	5月14日	町身体障害者福祉会定期総会	3,000円
5	祝金	5月24日	町商工会通常総会	3,000円
6	祝金	5月25日	町南部芸能協会定時総会	3,000円

自治功労者表彰

◆平成31年2月19日、青森市において「県町村議会議長会第69回定期総会」が開催され、自治功労者表彰を受けた本町議員は4人で、郷州議員・山田議員は19年以上、大江議員、百目木議員は11年以上在職で表彰を受けました。



郷州 公典 議員
(平成11年4月30日～現在)



山田 恵治 議員
(平成11年4月30日～平成31年4月29日)

青森県町村議会議長会表彰 議員19年以上



大江 和夫 議員
(平成19年4月30日～現在)



百目木 和俊 議員
(平成19年4月30日～現在)

青森県町村議会議長会表彰 議員11年以上

平成31年 第2回臨時議会

平成31年第2回臨時議会が3月25日に召集され審議の結果、全会一致で可決しました。

前教育長の辞職に伴い、丸岡博氏の教育長任命に同意しました。



丸岡 博氏

令和元年 第3回臨時議会

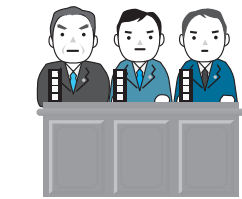
新議会組織決定

町議会臨時議会において、議長・副議長及び各委員が決定されました。

町財政一般に関する事項を担当

【議会運営委員会】
（議会の運営を円滑で効率よく進めるための議長の諮問機関で、議会の会期・議事日程・議案・一般質問などの取り扱いを協議。）

委員長 百目木 和俊
副委員長 長根 岩夫
委員 上道 二三男
委員 荒谷 憲輝



【教育民生常任委員会】

（町教育の振興並びに保健、社会福祉に関する事項を担当）

- 委員長 森 榮吉
副委員長 大下 修
委員 百目木 和俊
委員 林 貢
委員 寅谷 正

【産業建設常任委員会】

（町産業振興、土木及び建設行政一般に関する事項を担当）

- 委員長 長根 岩夫
副委員長 濱谷 貴樹
委員 小松 雅彦
委員 下沢 育男

【八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員】

- 荒谷 憲輝

【監査委員】

- 小松 雅彦

主な可決議案

令和元年第3回臨時議会
は5月13日に召集され、専決処分による条例改正3件、専決処分による平成30年度一般会計及び特別会計補正予算4件等計8件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で承認、可決（同意）しました。

▽階上町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例

▽30年度一般会計補正予算
1億993万円を増額補正し、予算総額は5億6339万円。

及び階上町復興産業集積区域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

▽30年度国民健康保険特別会計補正予算
2188万円を増額補正し、予算総額は16億2843万円。

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第25条の地方公共団体等を定める省令の一部改正等に伴い、固定資産税の課税免除の適用期間延長について所要の改正をすることを専決処分したも

▽30年度介護保険特別会計補正予算
1673万円を減額補正し、予算総額は12億928万円。

地方税法の一部改正に伴い、住宅借入金等特別税額控除、子どもの貧困に対応するための個人住民税の非課税措置、環境性能割の税率適用区分等について所要の改正をすることを専決処分したも

▽30年度後期高齢者医療特別会計補正予算
34万円を増額補正し、予算総額は1億1753万円。

地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度額及び減額の対象となる所得基準の引き上げについて、専決処分したも

求めるもの。

【専決処分】
▽階上町税条例等の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、住宅借入金等特別税額控除、子どもの貧困に対応するための個人住民税の非課税措置、環境性能割の税率適用区分等について所要の改正をすることを専決処分したも

求めるもの。



議員紹介

副議長



10番 松尾 國治 (71)
①総務財政 ②3期目

皆様のご意見を
町政に反映させるため
がんばります。

新議長挨拶
この度は議長という重責を担う事となり、身も心も引き締まる思いでいっぱいであります。今後は、町民の福祉向上と町政発展の為に議員の皆様方と日々研鑽を積み、議会の機能・役割を果たして参る所存であります。今、議会改革はスタートしたばかりであり、より開かれた議会・あるべき姿の議会を目指し進めて参りたいと考えておりますので、皆様方のご指導ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議席番号 氏名 (年齢)
①所属委員会 ②議員歴

議長



14番 林 貢 (71)
①教育民生 ②4期目



1番 下沢 育男 (60)
①産業建設 ②1期目



2番 寅谷 正 (63)
①教育民生 ②1期目



3番 荒谷 憲輝 (49)
①総務財政 ②2期目



4番 大下 修 (60)
①教育民生 ②2期目



5番 小松 雅彦 (60)
①産業建設 ②2期目



6番 上道二三男 (62)
①総務財政 ②2期目



7番 長根 岩夫 (66)
①産業建設 ②2期目



8番 森 榮吉 (72)
①教育民生 ②3期目



9番 濱谷 貴樹 (48)
①産業建設 ②3期目



11番 百目木和俊 (68)
①教育民生 ②4期目



12番 大江 和夫 (69)
①総務財政 ②4期目



13番 郷州 公典 (73)
①総務財政 ②6期目

議会活動

2月

- 1日 はしかみ健康フォーラム
- 5日 郡議長会定期総会
- 12日 町交通安全対策協議会
- 13日 町観光協会役員会
- 19日 第69回県町村議会議長会定期総会・自治功労者表彰式
- 21日 議会運営委員会

3月

- 1日 第1回定例会本会議
- 1日 議員全員協議会
- 3日 南部芸能発表会
- 5日 第1回定例会本会議
- 6日 第1回定例会本会議
- 7日 第1回定例会本会議
- 8日 町交通死亡事故ゼロ1500日達成祝い・交通安全故抑止決起集会
- 13日 卒業式（階中・道中）
- 15日 町防犯協会役員会
- 16日 卒業式（赤小・大小）
- 17日 卒業式（階小）
- 18日 はしかみ産業振興委員会

4月

- 1日 V.I.S.I.T.はちのへ設立記念式典
- 3日 町交通事故抑止祈願祭
- 3日 町防犯協会定期総会
- 5日 町連合婦人会定期総会
- 5日 町文化協会総会
- 8日 小・中学校入学式
- 9日 町観光協会役員会
- 9日 町体育協会定期総会
- 12日 階上岳山開き安全祈願祭
- 17日 郡議長会役員会
- 19日 町教育振興大会
- 19日 階上中学校教職員歓送迎会
- 23日 町観光協会総会
- 26日 町民生委員児童委員協議会定時総会
- 20日 卒業式（石小・道小・舟小）
- 22日 町観光協会写真コンテスト
- 22日 議会運営委員会
- 25日 第2回臨時会本会議
- 26日 健康宣言一周年記念講演会
- 27日 学校長並びに教頭送別会

5月

- 13日 第3回臨時会本会議
- 14日 町身体障害者福祉会定期総会
- 17日 議会だより編集委員会
- 20日 はしかみ産業振興委員会
- 22日 町村議会広報研修会
- 23日 議会だより編集委員会
- 24日 町商工会通常総会
- 25日 町南部芸能協会定期総会
- 28日 全国町村議会議長・副議長研修会（29日）
- 30日 郡総合体育大会結団式



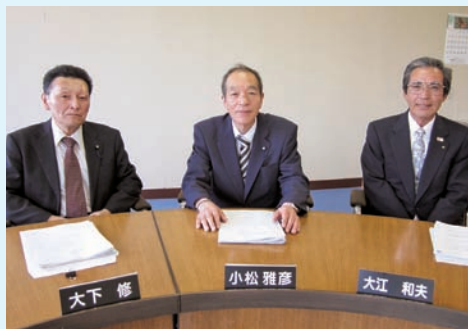
松倉長太郎元議員逝去

元町議会議員の松倉長太郎さん（91）が、2月16日、ご逝去されました。昭和54年4月から、16年間議員として、町の発展に尽力されました。

ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈りいたします。

議会傍聴者数（延べ人数）

- 第1回定例会（平成31年3月）
 - 3月1日（4人）
 - 3月5日（31人）
 - 3月6日（9人）
 - 3月7日（3人）
- 第2回臨時会（平成31年3月）
 - 3月25日（3人）
- 第3回臨時会（令和元年5月）
 - 5月13日（12人）



議会だより編集委員会

- ◆今月号の編集委員（3人）
- ・大江 和夫 議員（総務財政）
- ・小松 雅彦 議員（産業建設）
- ・大下 修 議員（教育民生）

編集後記

第1回定例会、第2回並びに3回臨時会の議会だよりができましたので報告いたします。

令和元年、初めての議会が開催され、新たに組織が決定いたしました。よろしくお願いいたします。

（大江・小松・大下）

議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付票に住所・氏名等を記載し、受付箱に投函するだけで、どなたでも傍聴できます。（傍聴者席は、26席です（記者席含む）。）